

Santo Domingo

サントドミンゴ



1- サントドミンゴの位置と概要

Santo Domingo

サントドミンゴ



概要

サントドミンゴはドミニカ共和国の首都。市域面積、80平方^キロ、都市圏面積、1,200平方^キロ。人口、約370万人（ドミニカ共和国の人口、約1,053万人）。

エスパニョーラ島の東部にある植民都市としてはアンティル諸島（中央アメリカに位置し、西インド諸島の主要部を構成する諸島）で一番古い都市でカリブ海有数の世界都市。新世界征服の本拠地として最初に建設された街です。新市街と旧市街（ソナコロニアル）とそれ以外に分かれていて、旧市街には歴史的に貴重な建造物が多く、1990年にはユネスコの「世界人類遺産」に指定されました。新市街は近代的で、経済の中心地であり政治の各種主要機関、博物館、美術館、大学、ショッピングモールなど様々な施設が集まります。

サントドミンゴ



新大陸最古の街、旧市街（ソナコロニアル）とその近隣の観光スポット-1

観光の見どころが集中する旧市街。そのメインストリートであるエルコンデ通り。通りの両脇にはホテル、お土産屋さん、レストラン、カフェ、絵画の露店ギャラリー、スーパーマーケットなどが軒を連ねている。またストリートパフォーマーもいて平日休日賑わいを見せている。メインストリートから外れても、ディスコティカ、カフェ、劇場など大人が楽しめる場所がたくさんある。

コロブス広場になるフランス人彫刻家ジルベールによって造られた“新大陸を指さして立つコロブス像”。コロブス広場は観光スポットになっているのはもちろんのこと、市民にとっての憩いの場でもある。この公園は平日休日を通じて賑わいをみせ様々なパフォーマンスによるストリートパフォーマンスが楽しめる。



ソナ コロニアルのメインストリート、エル・コンデ通りの入り口にあるドミニカ共和国独立記念公園、パルケ・インディペンデンシア。中にはドミニカ共和国の独立の英雄フアン・パブロ・ドゥアルテ、フランシスコ・デ・ロサリオ・サンチェス、ラモン・メジャの三人の銅像と棺がある。また慰霊の炎がともされている。



スペイン植民地時代の1514年に4年の歳月をかけて、リストファー・コロンブスの長子、ディエゴ・コロンの為に建てられた邸宅。館内にはイスラム文化の影響を受けながら、ゴシック様式の粋が随所にちりばめられた豪華な造りとなっており、寝室、食堂、礼拝堂、音楽室、寝室、22部屋。当時の暮らしが再現されている。



この大聖堂は1510年に建築家アロンソ・ロドリゲスがスペイン王朝の命を受けて建設し、1540年に完成した“新大陸で最初の大聖堂”であり“新大陸最古の教会”。かつてはクリストファー・コロンブスの遺体が安置された場所。大聖堂はプラテレスコ様式で建てられ、豪華で繊細な彫刻装飾とシンメトリーが融合した造りが見所だ。

4- サントドミンゴの観光

新大陸最古の街、旧市街（ソナコロニアル）とその近隣の観光スポット-2



パンテオン・ナシオナル（霊廟）

1714年にイエズス会の教会として建てられた建物。パンテオンとして使われるようになったのは1955年からで、ドミニカ共和国の歴代の総督や国民的英雄が眠っている。



日時計

1753年に作られたという新大陸でもっとも古い日時計です。 サントドミンゴ港を見下ろす位置にあり、夜はカップルの憩いの場になっている。



コロンブス記念灯台

1992年の500周年記念としてエル・ファロ・ア・コロンの名づけられたコロンブスの墓が建設された。建物を上から見ると十字架の形をしており、夜にイルミネーションが灯る夜空に十字架が現れる。この建物は46カ国が援助で建てられており、内部は棺とともにそれらの国の文化や歴史を紹介する展示物が国ごとに展示されている。



ロス・トレス・オホス（3つの目）

先住民のタイノ族が最後の隠れ家にしていたと言われている大きな石灰岩の鍾乳洞ロス・トレス・オホス（Los Tress Ojos）。3つの目の意味のとおり、そこには大きな3つの湖があります。現在は1つ発見されて4つの淡水の湖で出来ている。



中華街

ソナコロニアルから徒歩10分ドミニカ共和国に住む日本人にも非常に嬉しい中華街があります。うどん、蕎麦、カレー、インスタントラーメン、麺つゆ、みりん等の日本食材をはじめ、餃子、焼売など日本人には馴染みの食材が買える。もちろん中華レストランもあるのでドミニカ料理に飽きたころには、是非中華街にお越し頂きたい。



ドゥアルテ

中華街から徒歩10分 路面店が立ち並び、洋服、靴、果物、腕時計、雑貨などなど何でも格安の値段で売っています。怪しい物が多数ですが、この人々の熱気と活気に触れることができます。中には掘り出しモノもあるかもしれませんので是非見に来てください。※訪れる際にはスリ等に注意。

5- サントドミンゴの観光

Santo Domingo

サントドミンゴ

新市街の観光スポット

サントドミンゴ市の西部に広がる新市街には近代的な建物が建ち並びます。大きなスーパーマーケットやショッピングモール、ホテルやレストラン、映画館など娯楽施設からビジネスまで、サントドミンゴに住む人々の生活を見ることができます。



ドミニカ人類博物館

1973 年設立の巨大な 4 階建ての国立人類学博物館は年間のべ 6 万人が足を運ぶ。国内の小中学生が社会科見学で訪れることが多く、春先は毎日のように館内にぎわいます。明文はスペイン語のみだが、ドミニカ共和国の文化・歴史を知る上で是非訪れたい場所です。文化広場の中にあり、近代美術館、自然科学博物館、国立劇場が集まっています。



マレコン通り

マレコン通り海岸沿いにあり、高級なホテルが立ち並んでいますが、その海外沿いは毎晩地元のカップルや家族連れで賑わいを見せています。特に週末になるとカップル率が高まります。恋人たちは夜の海を見ながら愛を深めています。



ハルディン・ボタニコ・ナショナル

伐とした首都サントドミンゴの中で、のんびりと静かに時間を過ごせる場所。それがハルディン・ボタニコ・ナショナル。1976 年建設された世界中の植物を見ることができる歴史ある国立植物園であり、カリブ海最大の植物園。



日本庭園

ドミニカ共和国で“柔道の父”と呼ばれている松永護氏が造られた日本庭園。時の大統領レオネル・フェルナンデス氏から「日本庭園を造ってほしい」と依頼され、松永氏は日本庭園を独学で勉強し、知識を身につけ、ここハルディン・ボタニコに日本庭園を造り上げた。



エスタディオ・キスケージャ

ドミニカ共和国と言えば野球。その野球大国ドミニカ共和国の聖地、エスタディオ・キスケージャ。サントドミンゴを本拠地としているリセイとエスコヒードのホームグラウンド。リセイは一番の人気チーム。またエスコヒードも強豪で、日本では横浜 DeNA ベイスターズ筒香 嘉智選手が 2015 年に武者修行として参加したチームです。



セントロ オリンピコ

ドミニカ共和国には巨大なスポーツ施設セントロオリンピックがあります。野球、サッカー、バスケット、水泳、空手、陸上、様々なスポーツが出来る施設で子供からプロの試合までが行われています。

6- サントドミンゴのショッピング

新市街のショッピングスポット



アゴラモール

2012年にオープンしたサントドミンゴ市最大級のショッピングモール、アゴラモール。地元の家族連れやカップルに人気のショッピング定番のスポット。ファッションはZARAをはじめ、FOREVER21など、日本でも馴染みのあるファストファッション店から高級店まで店舗も充実。フードコートにも多彩な店舗が集まっています。



サンビル

イベントスペースも充実しているため、アニメや、旅行、ゲームなどのイベントがよく開催されている。この目玉はなんといっても地下一階にあるAquamundo（水族館）。ドミニカ共和国をはじめ、カリブ海、世界中の数千種類もの魚を見ることができ、子供から大人まで楽しむことができる。駐車できるのでスペースもあり、店揃え・品揃え、遊び場でも充実した、子供連れには最適なショッピングモールだ。



ブルーモール

ドミニカ共和国のモールの中でもこのブルーモールは別格。カルティエやルイヴィトンなどブランド店が数多く入っている。富裕層の為のモールです。



スーパーマーケット ナショナル

ナショナルは、ドミニカ共和国で複数店舗展開しているスーパーマーケットです。クオリティの高い食品、ペカリーをはじめ、豊富な品揃えのオリジナル商品を取り揃えています。ドミニカ共和国でポピュラーな商品から、こだわり商品まで幅広い商品展開で展開しています。どちらかというと富裕層向けのスーパーマーケットです。



シレーナ

ドミニカ共和国の大型スーパーマーケット。シレーナの強みは豊富な品揃えと価格。食料品から家具、家電、衣服、雑貨まで全てが揃っています。例えるならイトーヨーカードでしょうか・・・。



プラザラマ

シレーナ同様のドミニカ共和国での大型スーパーマーケット。食品を中心に衣服、家具、家電、雑貨までが揃っています。プラザラマも集客力があるスーパーですが、シレーナよりも売り場面積が狭いのと社員教育で劣る印象を持ちます。

7- サントドミンゴの交通手段

Santo Domingo

サントドミンゴ



ベインティシエテ・デ・フェブレロ

通称 ベインティシエテ (Avenida 27 de Febrero) は首都サントドミンゴを東から西に横断する主要道路の1つです。27はドミニカ共和国の独立記念日「2月27日」から名前が付けられました。サントドミンゴは地下鉄 (METORO) も開通していますが、主な交通手段は自動車です。出勤時の朝と帰宅時の夕方にはこの27も交通渋滞がおきます。



カリベツール

地方に旅行するにあたり長距離バスが出ている。その一つがカリベツール (CARIBE TOUR)。ドミニカ共和国国内を網羅。車内は清潔、冷房も効いている。予約は特に必要なく当日の出発前にチケット窓口で行先を言って、チケットを買える。混雑が予想されるシーズンなどは予約をしたり、前もってチケットを買うことがオススメ。



カロとグアグア

カロという乗り合いタクシー、グアグア※ミニバス、これらは決まった1区間 (主に直線) を走ります。乗る所も降りる所も自由で、見つけて乗り込みます。27等の主要道路においてはかなりの頻度で走っており、呼び込みしている係の人から声を掛けられるので、すぐに見つけて乗り込むことができます。グアグア) もカロもボロボロです。どちらも25ペソ (約60円)



メトロ

サントドミンゴの首都を縦横に走るサントドミンゴ市で運営されている地下鉄 (Metro Santo Domingo)。2009年1月に北部のママ・ティンゴ駅から南部のセントロ・デ・ロス・エロエス駅 (16駅、総延長14.5km) までを結ぶが1号線が運行を開始。2013年4月に西部マリア・モンテス駅から東部エドゥアルド・ブリトー駅 (14駅、総延長12.85km) までを結ぶ2号線が運行を開始された。地下鉄というものの北部へ向かう途中から地上に出るので外の景色も楽しめる。均一運賃で始点から終点まで乗っても、どこで降りても同じ20ペソ (約45円)



オムサ

国営のオムサがあります。これは大型バスでクーラーも効いていて快適ですが、停留所では停まりません。15ペソ (約35円)

8- サントドミンゴの食事・食べ物

Santo Domingo

サントドミンゴ

ドミニカは果物天国。果物の種類は豊富でいろいろな種類が出回り、安くておいしい。抜粋してご紹介



マンゴー

東南アジアが原産といわれるマンゴーは、ここドミニカでも各地に自生しており、とても身近なフルーツ。道に転がっている実を拾い、皮を歯で噛みちぎってそのまま食べるのがドミニカ流。1年に何回も収穫をすることができる。大ききにもよるが、マンゴーの産地パニーでは10個で100円という日本では考えられない価格で提供される。



プラタノ

見た目はバナナ、生で食べるには固く芋のような調理用の緑のバナナ、それがプラタノ。プラタノには種類あり、プラタノ・ベルデ：甘みはなく、味は芋に似ているモノ。プラタノ・マドゥロ：プラタノ・ベルデが熟して黄色くなり甘みは増しているが固いモノがある。油で揚げたり、茹でたりして食するのが一般的な調理法。もちろん日本でおなじみの甘い黄色いバナナも売っている。



アボガド

こちらではアグアカテといいます。アボガドもこの国ではとてもメジャーな食べ物としてスーパーでも露店でもどこでも売られています。1個約50円



ココナッツ

よく写真のように道で売られていて、1個約50円でその場でココナッツジュースにしてくれます。



9- サントドミンゴの食事・食べ物

Santo Domingo

サントドミンゴ

ドミニカ共和国の定番の食べ物



アビチュエラ

アビチュエラ
ドミニカ共和国で白いご飯を頼むと必ず付いてくる赤いレンズ豆のスープの煮物。ドミニカ共和国を代表する家庭料理。アビチュエラを白いご飯にかけて食べるのがドミニカ流。



サンコーチョ

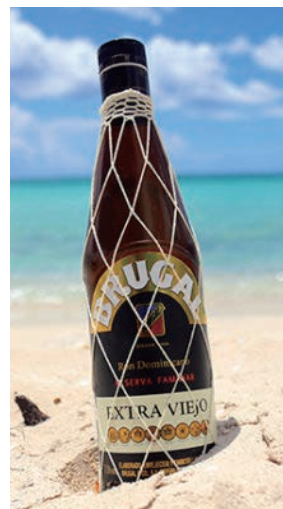
お肉と具を煮込んだスープ。こちらもドミニカ共和国を代表する家庭料理で白いご飯と一緒に食べます。

※ドミニカ共和国にいる日本人はドミニカ料理のことを「ドミ飯」と呼んでいます。ドミ飯は色々な種類から「選ぶ」ことが出来ます。食堂に入るとショーケースにずらりと並んだ料理が出迎えてくれます。



プレジデンテ

ドミニカの国産ビール「PRESIDENTE (プレジデンテ)」。今はブラジルビール最大手のアンペブに買収されたが、ドミニカといえばこのビール。コルマドからレストランまでどこでも飲むことが出来ます。日本人誰もが「美味しい！」と大好きなビール。軽くてとても飲みやすいビール。ライトとノルマルがあり日本人はノルマルを好む傾向。



ブルガル

「ブルガル」は、スペインやアメリカをはじめ世界 25 カ国以上で親しまれている。ラムの本場・カリブ海エリアでは第 1 位のラムブランド。1888 年のブルガル社創業以来、100%ドミニカ共和国産の原料にこだわり、さらに近年パートナーシップを結んだ「ザ・マッカラン」の樽管理技術を導入し、熟成にもこだわったラムとして、世界中で高い評価を受けている。



カカオ

ドミニカ共和国は砂糖やカカオなどの農業が主要産業で、カカオの生産も世界第 9 位という有数のカカオ生産国。ドミニカは土壌が良く、オーガニックでの生産に適した土地で、良質なカカオが採れ、オーガニックカカオの割合が 70%という高品質さ！勿論、日本にも輸出されていて、日本が輸入している。まさにカカオの国。

10- サントドミンゴの遊び

Santo Domingo

サントドミンゴ



メレンゲとパチャータ

どちらもドミニカ共和国が発祥と言われているラテン音楽です。ドミニカ人に欠かせないラテン音楽で、大抵のドミニカ人はこの音楽に合わせて踊ることができます。男女がペアになり踊ります。旧市街には多くのディスコテカがあり、週末になると朝方までディスコテカで踊り明かして、シャイな日本人にもドミニカ人から誘われたりして、踊りをレクチャーされるので踊れない日本人でも十分楽しめます！



ドミノ

ドミニカ共和国の路上でよく卓を囲っている人達を見かけることができます。これは「ドミノ」と呼ばれるゲームで、老若男女に遊ばれているゲームです。ドミニカ共和国では昼間からビールやラム酒を片手におしゃべりやドミノに興じている姿を見ることが出来ます。



カラオケ

カラオケ店はそれほど多くありませんが、やはりドミニカ人は歌と踊りが大好きな国民性です。週末になるとカラオケ店も朝方まで大盛況で盛り上がっています。



野球

やっぱりドミニカ人は野球が大好きです。10月から翌年2月までのウィンター・リーグが開催され、このウィンター・リーグの優勝チームはラテンアメリカ王座をかけて争うカリビアンシリーズの出場資格を得られる。優勝パレードは町中大騒ぎです。ドミニカン・リーグで何より良いのが、選手との距離の近さだ。球場で出待ちをしていると選手のサインをもらえたり、一緒に写真を撮ったり、話したりも出来ます。

11- サントドミンゴの日本

Santo Domingo

サントドミンゴ



日本人ドミニカ農業移住記念碑

2013年1月17日、ドミニカ共和国の首都サントドミンゴの世界遺産にもなっている旧市街に「日本人農業移住記念碑」が完成。日本人移住者を乗せたブラジル丸が到着して以来約60年。大変なご苦労をされた移住者の方々の礎の上に今日のドミニカ共和国と日本の関係、そして世界からの日本人への信頼があることを忘れてはいけないと感じることが出来ます。



日本語

日本語を習うドミニカ人の多くは日本のアニメ、漫画、ゲームから日本文化に興味を持ち、勉強を始めるという人が多い。サントドミンゴの国立大学 UASD や私立 APEC 大学で日本語を教えている日本語クラスがあります。先生もドミニカ人。



武術 柔道・空手・剣道・合気道

日本の武術がドミニカ共和国に伝わったのは今から約60年前の1956年から1959年のことである。日本政府の「移民政策」によって移住した日系人らによって広められました。移住者の中に軍隊や警察で剣道を経験した者が多く、ゆっくりと広まっていった。当初は道場もなかったため、公民館などを借りて日本人同士で稽古をしていた。まさにゼロからのスタートだったが、今では日本の武術はドミニカ共和国でも人気。



日本のアニメ

ここドミニカ共和国でもやはり日本のアニメは大人気。アニメのイベントになるとポケモンのかぶりものから、ナルト、ワンピースのコスプレイヤーまで、約90%が日本のアニメファン！



日本料理店

ここ数年でドミニカ共和国にも日本料理店や寿司屋が増えてきました。オーナーは日本人のお店もあればドミニカ人、ベネゼエラ人など色々ですが、基本的には値段は高めの富裕層向け。また基本的に油物（フライドチキンやポテトフライなど）が好きなドミニカ人ですが、ここ数年で健康志向を持つ人が多くなってきた印象があります。ベジタリアンレストランも賑わっていたり、ベジタリアンのための料理教室なども開催されています。



Esperamos su venida a República Dominicana de todo corazón.

ドミニカ共和国へのお越しを心からお待ちしております。